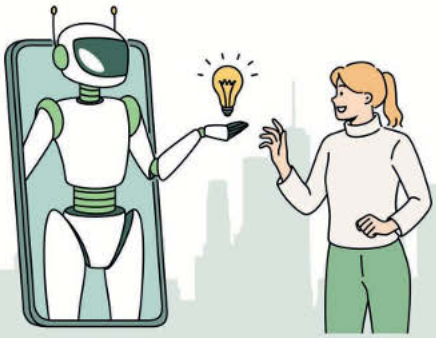
SESSION

生成AI／クラウドサービス基礎 及び 活用に関するグループワーク演習

1日目





01

オリエンテーションと ツールの準備



01 学習目標



講座の全体像と目標を理解する。

各種ツールの役割を理解し、利用準備を完了する。

AI活用の注意点を理解し、安全な活用法で自己紹介を改善する。

02 講座の目的と2日間の流れ

生成AIとクラウドサービスの基礎知識を学び
実務で活かせる「実践的なスキル」として習得する。

1日目	2日目
基礎知識とツールの習得	**実践的なグループワークと成果発表**
• オリエンテーションとツールの準備 • AIの基本と活用体験 • Google Workspaceでの共同作業 • クラウドデザインツール入門	• 「地域防災講習会の開催」をテーマにしたグループワーク • 成果発表と振り返り

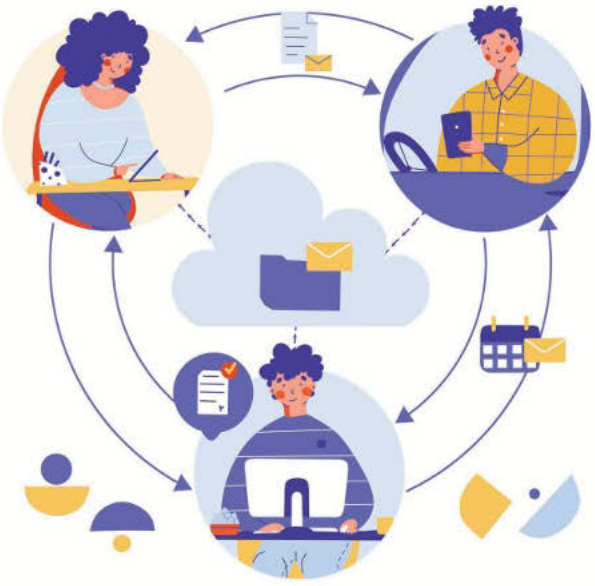
生成AIって？

人間のように自然な対話ができるAIです。この授業では、アイデア出しの相談相手（壁打ち）として使います。考えを整理し、形にするのを手伝ってくれる頼れるアシスタントです。



クラウドサービスって？

パソコンにソフトを入れなくても、インターネット上でデータ保存やアプリが使えるサービスです。今回の授業で使うGoogle Google WorkspaceやCanvaも、代表的なクラウドサービスです。AI機能が組み込まれているものもあります。



05 利用ツールの紹介と特徴

グーグル ワークスペース

授業のお知らせや資料の共有、複数人での共同作業がオンラインで行えるアプリ群です。リアルタイムでの情報共有ができ、共同作業をよりスムーズにします。

チャットジーピーティー

対話形式で文章の作成やアイデア出しを手伝ってくれるAIツールです。レポートの構成を相談したり、難しい言葉を簡単に言い換えてもらう等に活用します。

キャンバ

豊富なテンプレートで、誰でも簡単におしゃれなデザインが作れるツールです。プレゼン資料やポスターなど、見やすい資料を直感的な操作で作成できます。

06 利用ツールの紹介と特徴（AI検索エンジン・AIエージェント）

フェロー

情報を「整理して見せる」のが得意なAIです。調べた結果をプレゼン資料や図の形に自動でまとめてくれます。まずは日本の情報を集めたい時や、発表の準備をする時に便利です。

ジェンスパーク

「色々な視点」を集めるのが得意なAIです。まるでAIのチームが多角的に情報を集めてくれるようなイメージです。アイデアの幅を広げたい時や、物事を深く考えたい時に役立ちます。

パープレキシティ

答えの「根拠を示す」のが得意なAIです。すべての回答に情報源（参考にしたサイト）が明記されます。レポート作成など、情報の正しさをしっかり確認したい時に信頼できるツールです。

07 ユーザー登録とログイン作業

必要なもの

- メールアドレス
- パスワード



08 生成AI体験



AIに簡単な文章作成を手伝ってもらおう！

AIを「壁打ち相手」や「アイデア出しのパートナー」として活用する、
最も基本的な使い方を体験してみましょう。

例えば

09

まとめ



〈注意点〉

- 各サービスのアカウント情報は忘れないよう、適切に管理する
- 授業では有料プランに登録しないように注意する
- 無料プランには利用制限があるため講師の指示に従って利用する
- 今後の演習で利用するため、
  全てのツールにログインできることを確認する

Point!

初めて使うツールもあると思いますが、まずは触ってみることを楽しみましょう。

AIの基本と活用体験

02



01 学習目標



適切な指示（プロンプト）の書き方を学ぶ。

各種ツールの役割を理解し、
AIの特性と注意点（ハルシネーション等）を理解する。

AIツールの使い分けを理解する。

02 生成AIツールの利用体験

代表的なツール

ChatGPT ／ Gemini

ChatGPTやGeminiは、人間と自然な会話ができるAIのことです。この授業では、アイデア出しや考えを整理するための「壁打ち相手」として活用します。質問に答えてもらうだけでなく、文章の要約やアイデアの提案など、思考のパートナーになってくれます。日々進化する便利なツールとの対話を体験してみましょう。



03 検索AIツールの利用体験

代表的なツール

Perplexity ／ Felo

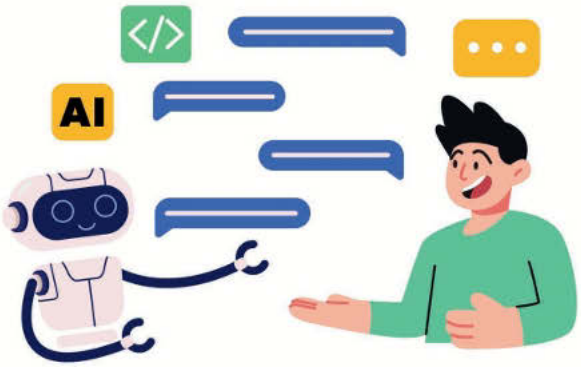
PerplexityやFeloは、従来の検索サイトとは違い、AIが情報源を明記した上で答えを文章でまとめてくれる対話型の検索ツールです。単に調べるだけでなく、情報の「なぜ？」を深掘りしたり、集めた情報を別の形に整理したりするのを手伝ってくれます。レポート作成や情報収集の頼れる相棒として、その実力を体験してみましょう。



04 プロンプトについて

プロンプトとは？

AIに何かをしてほしい時に伝える「お願い」や「質問」のことをプロンプトと呼びます。AIとの対話の出発点であり、この伝え方次第でAIの答えの質が大きく変わります。上手にお願いするコツを掴むことが、AIを使いこなすための第一歩です。



05 事実確認についての注意

AIはウソをつく！？

AIは悪意なく、事実と違う話をすることがあります。これはAIが、膨大な文章をお手本に「次に来そうな言葉」を予測して、文章を組み立てているからです。ネット情報を参考にしても、その正しさを判断しているわけではないため、もっともらしい「作り話」が生まれてしまうのです。AIの答えは鵜呑みにせず、必ず情報源を確認しましょう。

KEY WORD

ハルシネーション

AIが実際には存在しない情報や事実と異なる内容を、もっともらしく生成してしまう現象のことです。誤情報や勘違いの原因になることがあります。

06 まとめ



〈 注 意 点 〉

- AIの回答は必ずしも正しいとは限りません。
  AIの回答を鵜呑みにせず、必ず情報の真偽や引用元を確かめましょう。
- 個人情報や機密情報は入力しないでください。

Point!

AIとは「優秀なアシスタントと対話する」意識で、色々な聞き方を試してみましょう。
思った通りの答えが返ってこない時には、プロンプトを工夫してみましょう。

03

Google Workspace での 共同作業



01 学習目標

Google Workspaceでの共同編集スキルを習得する。

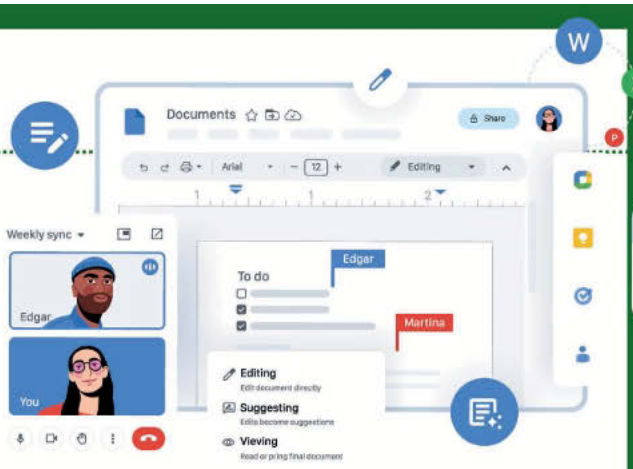
クラウドの仕組みと情報共有方法、注意点を学ぶ。



02 使用ツールについて

Google Workspace

Google が提供しているビジネス向けの
クラウド型生産性ツールの統合サービス。



主な特徴

- **リアルタイム共同作業**：複数人で同時編集、コメント、履歴管理が可能
- **クラウドベース**　：データはオンラインに保存、端末を問わずアクセス可
- **高いセキュリティ**　：2段階認証、データ暗号化、管理者による制御機能
- **ビジネス利用に最適**　：独自ドメインのメールやストレージ容量の拡張

03 Google Workspaceの代表的な機能

ドキュメント 資料作成／共同編集	スプレッドシート 資料作成／共同編集	ドライブ ファイル共有
keep メモ／共同編集	Meet ビデオ会議	Chat チャット

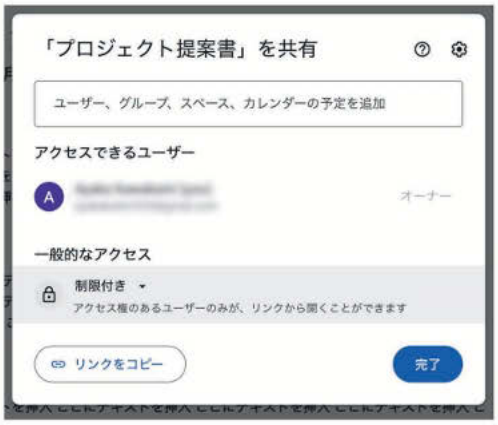
04 共有設定に注意！

「必要最小限の共有」を意識するのが鉄則です。

共有範囲は**「誰が・どの情報に・どの権限でアクセスできるか」**を常に意識しましょう。

権限の種類

- **閲覧者**　：内容確認のみ
- **コメント可**：コメントのみ
- **編集者**　：内容編集,削除,共有設定変更まで可能



！

「リンクを知っている全員」＝実質的に誰でもアクセス可能

→ 社外秘資料では特定ユーザー指定（メールアドレス指定）にしましょう。

05 まとめ



〈 注 意 点 〉

共有設定を間違えると、意図しない相手にファイルが公開されてしまう可能性があります。

共有範囲を常に意識しましょう。

Point!

パソコンにインストールして使うアプリと、クラウドサービスの違いを意識しつつ、リアルタイムで変更が反映される便利さを体験してください。

クラウドデザインツール入門

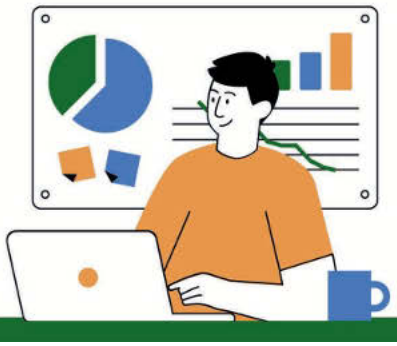


04

01 学習目標

Canvaの基本操作を習得する。

見やすい資料を作成するためのコツを理解する



02 使用ツールについて



Canva

オンラインでデザインを作成・編集できるツール。
ブラウザやアプリで使え、インストールは不要。

主な特徴

- **豊富なテンプレート**　：SNS投稿、チラシなど多用途のテンプレートが揃う。
- **ドラッグ＆ドロップ操作**：直感的な操作で、デザイン初心者にも使いやすい。
- **共同編集機能**　：複数人で、リアルタイムでの共同作業が可能。
- **クラウド保存**　：クラウドに自動保存され、どの端末からでも編集可能。

03 制作できるもの

プレゼン-テーション　SNS　動画　印刷　ドキュメント　ホワイトボード　Canvaシート　Webサイト　写真エディター

印刷物
名刺・チラシ

Web関連
SNS投稿画像

資料作成
企画書・スライド

コンテンツ
動画・画像編集

etc...

豊富な
テンプレートから
選べる

04 Canvaを使ってデザインするコツ

01 テンプレートを活かす

テンプレートの構成に、自分が伝えたい内容を合わせていくと良いです。

02 色は「3色以内」にまとめる

ベース・アクセント・強調色の3色ルールを意識すると統一感が出ます。

03 フォントは「2種類まで」

タイトル用（個性あり）＋本文用（読みやすい）**の組み合わせが基本。

04 画像・イラストは「統一感」を意識

写真は「同じトーン」・イラストは「同じスタイル」でそろえると◎。



Point!

余白があると
すっきり見えて
上級者の印象に。



05 制作実習

制作物を作ってみよう！

テンプレートを利用して制作してみましょう。

（例）
・名刺を作る

Canva「ホーム画面」→「印刷物」 →「名刺」
からデザインテンプレートを選ぶ





06 まとめ

〈 注 意 点 〉

- 使用する画像や素材の著作権には注意してください。



Point!

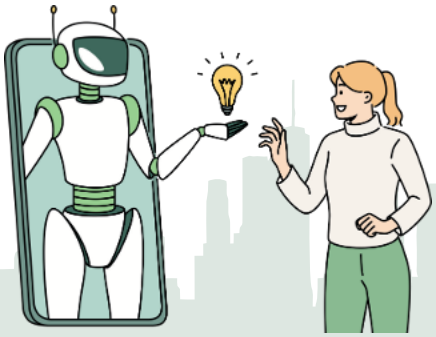
白紙からデザインするのではなく、テンプレートを利用して見やすい制作物を作るコツは、テンプレートの構成に、自分が伝えたい内容を合わせていくことです。

GOOD JOB!

おつかれさまでした

SESSION

生成AI／クラウドサービス基礎及び活用に関する演習



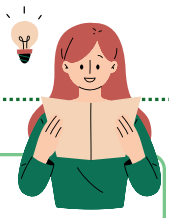
2回目

01

地域防災講習会を開催するためのAIとクラウド活用①



01 学習目標



1日目の復習と利用するツールの再確認

AIをアシスタントとして活用し
企画を進めていく

クラウドツールを活用し、
必要な情報を効率的に収集・整理・発信する。

02 課題

あなたは、住んでいる町の自治会に所属するメンバーです。
ある日、自治会長から「**地域防災講習会**」**の開催**について、**企画**を任されました。
開催にあたり、案内チラシ、避難所マップ、情報確認用のサイトを作成してください。

- **企画内容**
  - 防災の不安や備えを整理して、避難所マップや情報発信用のサイトをつくる
- **活用するツール**
  - Canva
  - Google Workspace
    スプレッドシート、マイマップ、フォーム、サイトなど

03 ブレインストーミング（意見を出し合おう）

! ブレインストーミングの基本ルール

- **批判禁止**　：どんなアイデアもまず受け入れる
- **自由奔放**　：突拍子もない発想を歓迎する
- **量を重視**　：たくさん出すほど良い
- **結合・発展**：他人のアイデアをもとに発展させる



04 ブレインストーミング実践

テーマ　**災害について連想すること（不安なこと）を挙げてみよう**

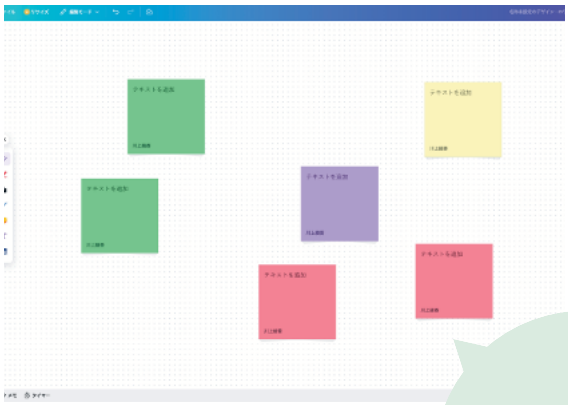
目的：不安を解消する防災勉強会を企画し、企画書の補助資料として活用する。
併せて、必要な準備物や避難所の検討にも活かす。

〈 連想することの例 〉
- 自分たちが恐れている災害のパターン
- なぜそれが不安なのか
- 誰が影響を受けるのか
- そのような状況で何が必要なのか

〈 具体的な不安の例 〉
- 家族の安全
- ペットの問題
- 介護が必要な人の対応
- 地震や雨などの災害

05 Canva上に付箋を貼っていこう





思いつくまま
たくさんの意見を
出してみよう

Canvaのホワイトボード上に各自の意見を記載していく。
出た意見をCanvaのAIを使ってカテゴリ分けして整理していく。

06 地域防災講習会の企画書作成に生成AIを活用しよう

地域防災講習会の開催にあたって、どのように進めていけば良いか
AIと対話しながらまとめて、全体像を把握する。

❶ 生成AIを使って企画書を作成する

「Canvas」機能を活用して企画書の概要を作成し、AIとの対話を通じて必要な内容を順次補完していきましょう。自動割り当てなど、生成AIの機能を最大限に活用することを意識しましょう。

❷ Googleドキュメントにまとめる

❶で作成した企画書を「Googleドキュメント」として書き出します。

07 まとめ

〈 注 意 点 〉

自分たちで考えつつ、AIをアシスタントとして利用する。
全てをAIに頼らない。

Point! 実務でどのように活用できるのかを、実習を通して学びましょう。

地域防災講習会を開催するための AIとクラウド活用②

02



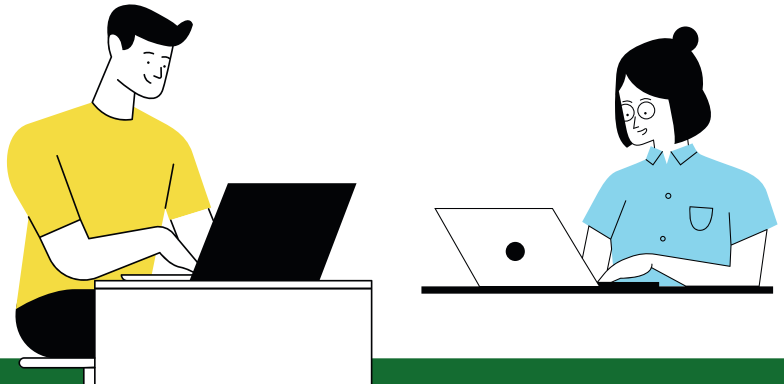
01 学習目標

AIやクラウドツールを活用し、整理した情報を成果物に変えていく



02

告知用のチラシや
SNS投稿用画像をそれぞれ作りましょう



03 Canva：地域防災講習会の案内（チラシ）

地域防災講習会の案内チラシを作成する

ワーク

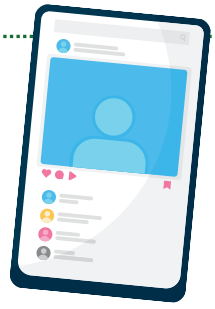
Canva「ホーム画面」→「印刷物」→
「チラシ（A4）」からテンプレートを選んで
内容を今回の講習会の情報に変更しましょう。

Point

検索画面にキーワードを入れると内容に合った
テンプレートを絞り込むことができます



04 Canva：地域防災講習会の案内（SNS用）



自治体の公式LINEなどでも発信できるようにバナー画像を作成する

ワーク

Canva「ホーム画面」→「SNS」から
作成したいSNSのテンプレートを選んで
内容を今回の講習会の情報に変更しましょう。

Check

LINE、Facebook、Instagram、X（旧Twitter）等
様々なコンテンツのサイズに合わせたテンプレート
が用意されています。



05 まとめ

〈 注 意 点 〉

- 情報の正確性に注意しましょう。
  必ず公的な機関の情報を確認しましょう。
- Canvaでは、テンプレートのデザインを保持しつつ、
  情報のみを更新するように心がけましょう。

Point! 住民の方に興味をもってもらえるようなデザインと情報設計をこころがけてください。

03

地域防災講習会を開催するための AIとクラウド活用③



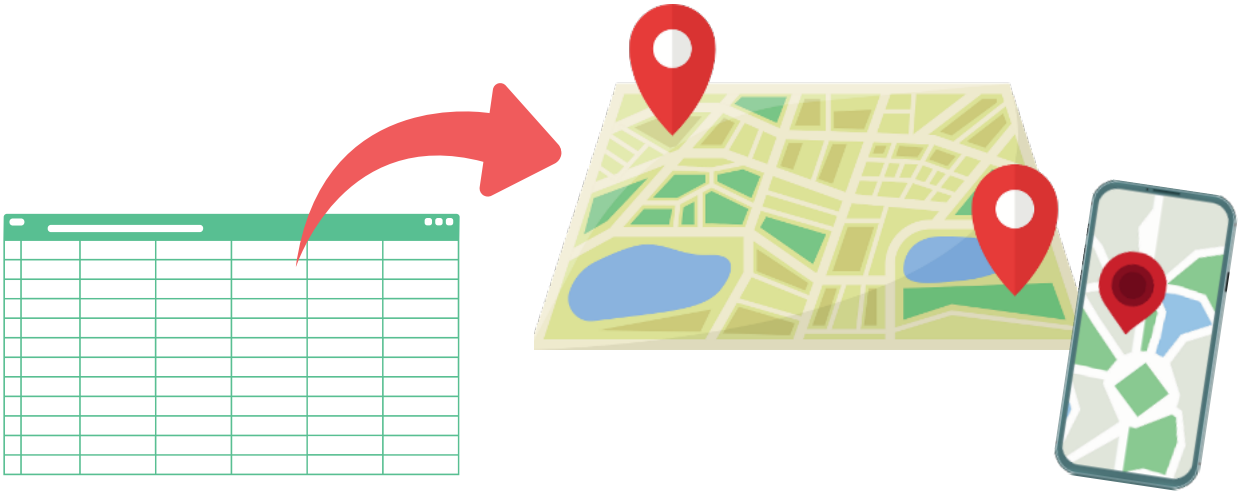
01 学習目標

成果物の配布や受付方法について



02 共同作業：Googleマイマップで避難所マップを作成

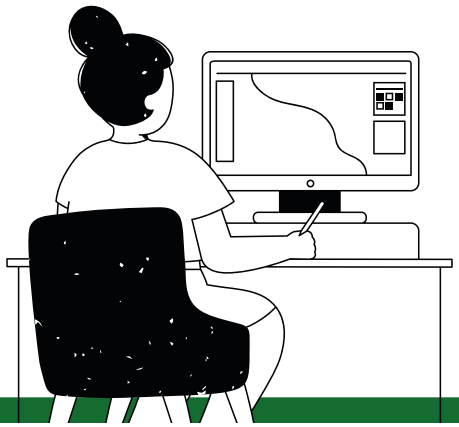
学区内の小中学校（避難所）をGoogleマップで調べてスプレッドシートにまとめていきましょう。まとめたデータを使って避難所マップを作ってみましょう。



03 Googleフォームを使って、申し込みフォームを作ろう

申込のチラシに入れたりするフォームを作ってみよう。

作ったらQRコードやURLにしてみよう。





05 まとめ

〈 注 意 点 〉

フォームを公開する際に
回答者の権限を確認しましょう。



Point! 講習会の参加者が回答できるように、回答者は「リンクを知っている全員」に設定

地域防災講習会を開催するための AIとクラウド活用④



04

01 学習目標

スマホから情報確認できるように「Googleサイト」を活用する

ここまでの成果物をまとめる



04 Googleサイトを使って今日の資料を閲覧できるように

Googleサイトを使って、参加者や
参加出来なかった地域の人にスマホ
からデータを見れるようにする。

まとめる情報

- 企画書
- デザインデータ
- マップ



03 まとめ

今回の演習は、あくまでスタートです。
ここで得た知識やスキルを、今後の学習や将来の仕事で
どう活かせるかを考え、
自分なりのAI活用法を見つけていきましょう。



GOOD JOB!

おつかれさまでした